

団体名：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

目的：豊かで住みよい地域づくりの実現のために、宮城県を中心としたボランティア及びNPO(民間非営利組織)活動に関わる情報の収集及び提供を主軸に、NPO やボランティア団体等が活動しやすい環境づくりと、地域の人がボランティアに参加しやすい環境づくりに寄与すること

設立：1996年12月 (NPO 法人認証：2003年3月)

活動概要：

1. 情報発信事業：月刊杜の伝言板ゆるるの発行  
(A版16頁 8,000部 県域400か所に無料配布)
2. NPO支援拠点事業：宮城県のみやぎNPOプラザの指定管理者
3. 青少年のNPO理解促進事業：高校生の夏ボラ体験プログラム
4. シニアの社会参加支援事業：NPO訪問バスツアー
5. NPOの基盤整備推進事業：NPO会計や広報、ボランティア育成、IT活用等の講座

市場化テスト及び公共サービス改革について

官と民で競争原理を導入し、公共サービスの質の維持向上・経費節減等を図る方法  
今は、お金がかかり、サービスが悪いのか？国民・県民の利益に無関心？

- ・責任体制：官が最終責任者 本心に官がとるのか。リスクを避けるため管理型になり、民間の良さを展開できないのではないか
- ・入札制度：競争入札 公務員の意識改革になるのか疑問
- ・コスト計算方法がはっきりしない：安い サービス低下につながるのでは？

指定管理者制度

- ・それまで地方公共団体や外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人やその他の団体に包括的に代行させることができる制度
- ・プロポーザル方式や総合評価方式で民間に委任

期待される効果：民間の得意分野を生かし、サービス内容の向上につなげる

民が抱える課題：

- ・コスト積算が不明で、人件費や管理費に問題あり。  
休みを取らない計算上の人数、キャリアを想定しない報酬  
組織の本体で担う管理費を想定しない
- ・期間3年が多く、その後の保証がないため、契約期間のみの雇用になる  
キャリアの蓄積が難しい。人材育成が進まない。
- ・運営費の柔軟な使用  
3年間の企画・運営に対して、各年の均等な支出が求められる。企画の準備や実施段階において均等な支出ができないケースもある。これまで官がしてきた単年度の予算消化ではなく、3年間の柔軟な事業展開を可能にし、3年間での収支が選択できるように税法を変える必要がある。